

2019年度 冬号

Communication

通信



◆発行日 2020年1月 ◆発行  
〒213-0022 川崎市高津区千年435-10  
TEL 044-833-7562  
FAX 044-833-7534

認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

<http://www.tamariba.org>

E-mail : [freespace@tamariba.org](mailto:freespace@tamariba.org)

## 自分が大切にされるとは

### ～みんなで語ろう「子どもの権利」～

私たちが普段過ごしている子ども夢パーク及びフリースペースえんは、「川崎市子どもの権利に関する条例」の理念をもとにつくられた、子どもが自由な発想で遊び、つくり続ける子どもの居場所です。この「子どもの権利条例」は、子どもとおとなは社会を構成するパートナーであると位置づけ、子どもを一人の人間（権利の主体）として尊重し、権利侵害から守り、自分らしく生きていくことを支えていこうという思いでつくられています。今回、権利の日事業を企画するにあたって、私たちの大切な場所である夢パークやえんに来ている子どもたちと一緒に「子どもの権利」について改めて考え、話し合いたいと思い、川崎市子どもの権利条例の策定に携わった山田雅太さんと喜多明人さんにお話ししていただくことにしました。



前半は山田さんがコーディネーターをしてくださり、川崎市子ども権利に関する条例の7つの権利の中で自分が大切にしたい権利を子どもたちそれぞれに答えてもらいました。さらに

子どもたちはどうしてその権利を選んだのかという理由についても自分の言葉で語っていました。その後はグループに分かれて、他の人の意見もたくさん聞きました。

普段一緒に過ごしてよく知っている子どもたちが権利について自分の気持ちや意見をしっかり伝えている姿に驚きましたが、その言葉の裏で感じたのは「自分を大切にしてほしい」、「伝えたい」、「認めてもらいたい」という子ども

たちの強い気持ちです。まっすぐな瞳で伝えている子どもたちの一人ひとりの姿を見てそう感じました。みんなの意見はどれもが大切で、知ることが出来てとてもよかったです。

後半は喜多さんによる「子どもの権利とは何か」について不登校の子どもたちの権利宣言を紹介していただいたり、漫画や絵本などを用いてわかりやすく説明していただきました。そこには子どもたち一人ひとりの意思がしっかり詰まっていて、子どもにも色々な生き方があっていいんだ、自信を持って主張していいんだということが書かれていました。そこにいた子どもも大人もなんだか勇気が出てくるようなお話でした。「子どもの権利」というと少し難しいテーマだと思いついていましたが、2時間ほどの間、子どももおとなも真剣に向き合っていました。

自分が大切にされるということはどういうことなのか、また、それと同じように他の人も大切にされ、一緒に生きていくとはどういうことなのか考えさせられる、そしてなんだか心があたたまる会になりました。（あかり）



認定 NPO 法人  
フリースペース  
たまりば  
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体（フリースペースえんを含む）の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

# たまりバラエティ



## YTKってなんだ?

### こどもゆめ横丁

今年も夢パーク最大のイベント、「こどもゆめ横丁2019」が11月4日(月・祝)に開催されました!

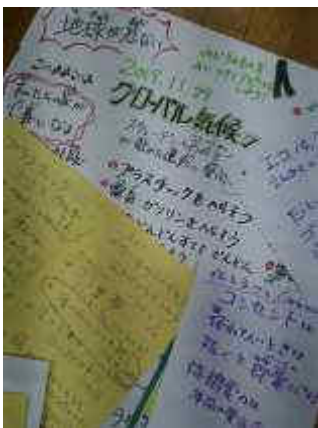
「こどもゆめ横丁」は子どもたちが夢パーク内に店を建て、オリジナルの商品を作り、現金で商売するお祭りです。えんからも、8グループ18人が出店しました。手作りのお箸を商品にしたり、熱々のおでんを売ったりと、思い思いに商売をしていました。普段夢パークでやり慣れているたき火を使ってフランクフルトや焼きそばを焼くメンバーもいました。

また、「こどもゆめ横丁」では出店しなくても出店者とお店を建てたり商品づくりをしたりもできます。今年度も出店はしないけどお店や公共施設の建設を楽しむメンバーもたくさんいました。さらに、今年度初めての試みとして、「横丁(Y) 楽しくしよう(T) 会(K)」(実行委員会のようなもの)が発足し、横丁全体の運営を担う、頼もしいえんのメンバーもいました。(しもん)

また、「こどもゆめ横丁」では出店しなくても出店者とお店を建てたり商品づくりをしたりもできます。今年度も出店はしないけどお店や公共施設の建設を楽しむメンバーもたくさんいました。さらに、今年度初めての試みとして、「横丁(Y) 楽しくしよう(T) 会(K)」(実行委員会のようなもの)が発足し、横丁全体の運営を担う、頼もしいえんのメンバーもいました。(しもん)

## プラゴミプロジェクト、スタート

お茶会ミーティングで、「”プラスチックゴミのことを考える人” この指とまれ!」と呼びかけたところ、たくさん手が挙がり、プラゴミ会議開催。いっぱい意見が出た中で少し紹介します。リクトから「土に還るプラスチックがあるよ。」ハルトから「作っている人たちに、もう作らないでって言う。売る人たちにも、売らないでって言う。」ミドリから「知ることと行動することが大事だから、いろいろ調べて勉強してみる。」などなど。まずはえんでできること、毎日のえん飯の買い物は必ずエコバッグにする、スーパーの袋ではなく広告の紙で作ったゴミ袋を使う、5(ご)と3(み)のつく日にみんなで環境について話す、と決まりました。(たかこ)



## 秋の遠足

### 赤城自然園

11月8日(金)にえんから飛び出して群馬にある赤城自然園に行ってきました。



今回は「株式会社セゾン情報システムズ」さんにバス代、入場料、お弁当などもすべてご負担をいただき実現したスペシャル企画です。

お天気にも恵まれ、満員のバス2台でいざ出発。到着後はすぐに大空の下でご用意いただいた鳥めし弁当または幕の内弁当をペロリ。悩んだ末に両方平らげた若者も?

東京ドーム約26個分の広大な敷地を時間内で回するには時間が足りないくらいでしたが、赤城自然園からのスタンプラリーのクイズに夢中になり花の名前を調べる子、カメラマンのようにベストショットをとりまくる若者、ゆっくり紅葉スポットを探す保護者、それぞれの秋を見つける時間でした。

このような貴重な機会をいただいた「株式会社セゾン情報システムズ」さんに心から御礼を申し上げます。(のぞみん)

## 「たまりばーる」が閉店します。

神奈川県からひきこもり等青少年自立支援プログラムモデル事業を受託し、床を張ったり、壁や天井をしっくい塗りしたりとみんなで内装をして「工房たまりば」をつくったのが2006年のこと。その後委託事業が終わり、「このまま壊してしまうの忍びない。どうにかこの場を続けられないか」と呼びかけたところ、保護者だったえっちゃんこと金山悦子さんが手を挙げてくれました。2008年6月より、彼女を店長として、オーガニックカフェ「たまりばーる」を開店しました。それから、早11年。いろいろな出会いとつながりがはぐくまれてきましたが、えっちゃんの引っ越しに伴って2020年1月26日(日)をもって、「たまりばーる」は閉店することになりました。おつかれさま! 今後も、みんなの想いが詰まったあの場で新たな展開ができないかと現在検討中です。お楽しみに。(ダイスケ)



指定管理施設

『やってみた』がいっぱいある場所です  
**川崎市子ども夢パーク**

川崎市高津区下作延5-30-1  
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059  
<http://www.yumepark.net>



# ブリュッケ だより

～自分の歯について  
考えたことはありますか～



ブリュッケでは、お昼ご飯前に一言ミーティングをします。若者たちから定期的に出るのが「歯が痛いけど歯医者に行ったことはなく、どうしていいかわからない」という悩み。若者たちにとって歯医者は、ハードルが高いようです。そんな中で出会ったのが、高津区役所地域ままもり支援センター地域支援課の筒井さん（歯科衛生士）。ブリュッケでの講座を引き受けてくださり、若者たちに「虫歯」と「歯周病」について詳しく話をしてくださりました。歯ブラシの正しい使い方体験もさせていただき、歯医者さん推奨の歯ブラシをいただいてみんなで歯みがきをしながら話を聞きました。私も初めて知りましたが、歯ブラシには靴と同様「つま先」と「かかと」があり、その部分をうまく使うと口の中全体をしっかりと磨けるとのことでした。そういえば、自分自身も歯医者さん任せで、どうしたら「虫歯」や「歯周病」になるのか、ならないためにどんな歯みがきをしたらいいのか、教わったことがなかったなあと感じました。たまには、自分の歯の状況に目を向けてみるのもいいものです。（佐藤）



## HAPPY えんパーティ

★初参加のえんのクリスマス会、お料理が机の上に所せましと並び姿にびっくり！前日の仕込みから当日の仕上げまでたくさんの人と作った料理があり、たくさんの人からいただいた差し入れがあり、みんなでつくるクリスマスにおなかもこころもいっぱいになりました。（はるひ）

★最近、えんで流行っているルービックキューブ。「1面そろった！」「全面のそろえ方覚えたよ！」とみんな次々にルービックキューブをマスター。タイムを計って何秒でそろえられるか挑戦する子も。けん玉も流行っていて、いつの間にか「もしかめ」を何回も続けられるようになって子どもたち。みんなの集中力が驚く毎日です。（モグ）

★毎年精力的に活動している「フェスティバルプロジェクトX」は今年も快調な滑り出し。何年もメンバーを続けているベテランから、まだフェスティバルを見たこともない新人までが9月から重ねた会議は、年末まででなんと21回!!テーマを決め、チラシやチケットを作り、パワーポイントに挑戦し、作業システムの見直しや工夫に余念がなく…と怒涛の快進撃が続いています。3月7日の本番をお楽しみに！（ハイホー）

## 西野のつぶやき



不覚にも涙があふれた。12月22日に高津市民館大ホールで開かれたシンポジウム「いま、初めて語られる 夢パーク・フリースペースえん誕生秘話」の席上でのこと。会場には250人を超える人が参加してくれていた。

川崎市子ども権利条例の具現化をめざして、「子ども夢パーク」の中に新しくつくられる不登校児童生徒の居場所「フリースペースえん」を整備するにあたって、当時、教育委員会内部でも不協和音がなされていた。学校外の学びの場は学校教育部指導課が所管する、学校復帰を目指してつくられた適応指導教室「ゆうゆう広場」があればいいのでないか。それに対し夢パーク整備を所管している生涯学習推進課の副主幹は、会議のレジュメに「いつでも、どこでも、だれでも学べる学校教育以外での学習権の保障」「学校教育にこだわらない生活からの学び」を掲げて議論に臨んだ。当然のことながら、会議はすんなりと進むわけもなく、話がまとまりそうにない時に、指導課の課長が立ち上がって発言した。

「夢パークに開設しようとしている不登校児童生徒の居場所は、学校復帰を考えない居場所で、その点で教育委員会学校教育部が責任を負う「ゆうゆう広場」とは異なる」「学校に行かないことも選択肢として認知するということは、あらためて子どもの最善の利益に立つという考え方で、その根っこには子どもの権利条例がある。つまり、学校に行かないで苦しんでいる子どもを学校教育の縛りから解放し、いたるところが学びの場だという考え方である。それを川崎として認める必要がある」

その会議の場に民間フリースペースの代表として立ち会っていた私は、鳥肌が立ったのを今でも覚えている。大げさに聞こえるかもしれないけど、歴史が「変わる」「動く」を実感した瞬間だった。あの時の課長の言葉を代読した時に、シンポジウムのコーディネーターだったにもかかわらず、私はあふれ出る涙を止めることはできなかった。

子どもの声を聴き、その思いを受け止めること。奇跡のような「夢パーク・フリースペースえん」誕生の裏には、「子どもの最善の利益」は何かを問い続け、誰一人取りこぼすことがない人権のまち川崎をつくらうとした熱いおとなたちがいたこともしっかりと記憶にとどめておきたいと思う。

（西野博之）



川崎若者就労自立支援センター  
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

\*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

## インフォメーション

★くわしくは事務局まで★

### たまりばフェスティバル 2019

#### 個性のかたまり爆発ばーん

3月7日(土)14:00~17:30(13:30 開場)

「えん」で行っている講座や自主企画など一年間を通して行ってきた活動発表の場です。楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさん♪子どもたちが立ち上げた、「プロジェクト X(フェスティバル実行委員会)」が中心となって企画・運営しています。裏方もステージもみんなが主役！1年分のえんらしさが凝縮された1日です♪

チケット: 小学生 100円、中学生から 500円、  
おとな 1,300円

協力券: 1,000円(当日+300円で入場可能)

※チケットのお求めは「えん」まで。当日券もあります。

#### 夢パーク 初夢!新春イベント

1月12日(日)11:00~15:00(夢パは17:00 閉所)  
もちつき、どんど焼き、書初めなどのお正月行事やかかるた・ベーゴマ・こま・はねつきなどの昔遊びをみんなで一緒に楽しもう♪

#### 夢パーク KUJI ROCK 20 winter- vol.44

1月19日(日)時間未定  
スタジオ利用者している中・高生バンドが企画・運営するライブイベント♪夢パークのごろりが“ライブハウス”になるよ♪

#### フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第6回 2月15日(土) 10:00~12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方  
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」  
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>  
申込み 第6回 1月7日(火)12:30から受付開始

## ご支援いただきありがとうございます (2019.9.15~2019.12.14)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。  
(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。  
なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

齋藤こえ子、吉沼真理、福本陽子、田村虎羽、伊藤多美恵、祖父江知子、浦野麻子、渡邊敬、東靖士、島村愛、石戸ナナ子、田場寿子、服部起代子、石橋充行・大吉、玉寄勝治、金子光希、橋本誠一・百合子、新田学、藤川英之、ハヤシマミ、山口正芳、佐藤研二・真理、岡本宏次、宮崎芳正、大田祈子、遠山和樹、井畑立明、橋爪裕二、中村勇、矢崎達則、増井幸子、新居龍太、有園桂、山下時生、田老伸匡、マリック・サドルディン、興水典久、喜多明人、清水善幸、竹内昭・太郎、山本哲也・将也、遠山則子、廣渡道明、山田恵理子、伊原美枝子、斉藤悠馬、徳永恭子、藤川昂大・美帆、宇井新・のどか、村岡美和子、佐々木ともの、赤野彩希、藤井景子、寺田樹生、畑本和彦・菜穂美、六郷まちづくり協議会、サポートステーションさいとう、株式会社 トランス・ワールド・インダストリー、株式会社 洗造、保護者バザー隊

### 応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば  
\*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できます。(支店名を「セ」で検索してください) ※

口座番号→〇二九(ゼロニキュウ)店 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562



オーガニックカフェ



TEL/Fax 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分  
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F

ありがとうございました。2020年1月26日をもって閉店します。